

No. 17-124 講習会
新しく発行された 5 軸マシニングセンタ精度試験規格

(生産加工・工作機械部門 企画)

〔協賛(予定) : 日本工作機械工業会, 型技術協会, 精密工学会, 日本機械工具工業会, ダイヤモンド工業協会,
砥粒加工学会, 日本金型工業会, 日本工作機械輸入協会, 日本工作機器工業会, 自動車技術会,
塑性加工学会, 日刊工業新聞社, 日本工業出版社〕

◆開催日◆ 2017 年 10 月 19 日 (木) 10:00~18:30

◆会場◆ DMG 森精機株式会社 名古屋本社 2F 会議室
JR 名古屋から徒歩 5 分 (〒450-0002 名古屋市中村区名駅 2 丁目 35 番 16 号, 052-587-1811 (代))
<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/company/profile/base/domestic/>

◆趣旨◆

近年, 世界的に 5 軸マシニングセンタの普及が進み, 多くのメーカが様々な形態の 5 軸マシニングセンタを製造するようになってきています。しかし, 今まで, 5 軸マシニングセンタの精度を評価する適切な技術はありませんでした。ISO では, 10 年ほど前から 5 軸マシニングセンタの試験方法について我が国が主導する形で規格化が進められ, 1996 年に発行されたマシニングセンタ試験規格(第 1 版)に, 5 軸マシニングセンタの試験方法を追加する形で, 一昨年から相次いで改訂版が発行されました。その規格の内容を見ると, テーブル旋回形を含む三つの構造形態を対象とした 5 軸マシニングセンタの精度試験方法が規格化されています。その中には, 新しい試験方法が随所に取り入れられ, しかも従来の測定器では対応しにくい試験事項も多数規格化されました。

本講習会では, ISO 規格に対応する JIS が発行される前に, ISO マシニングセンタ試験規格制定及び JIS 規格制定に取り組んだ講師が, 規格の概要, 改正のポイント, 測定上の課題等についてわかりやすく解説します。特に試験のもつ意味についても解説することで, 工作機械の製造業者だけでなく, 使用者が, 工作機械をより深く理解し, 高度に使いこなすための情報を提供します。さらに講演者全員の参加によるパネルディスカッションを通して普段聞くことのできない問題点などについても議論します。

講習会の最後には, 講師陣を囲んでの技術質問会(交流会)を予定しております。より詳しく深い技術情報を得る絶好の機会となっておりますので多数のご参加をお待ちしております。

なお, 当日は, 説明用資料として 3 つの ISO 規格翻訳版を提供するとともに, 代表的な測定器のカタログ展示も併設します。

司会: 寺本孝司[室蘭工業大学], 吉村辰浩[オークマ(株)]

10:00~10:05 開会挨拶

- | | | | |
|----------------|---|------------|---------------|
| 1. 10:05~11:05 | 改正された ISO10791 シリーズの改訂の経緯及びその概要 | 東京農工大学名誉教授 | 堤 正臣 |
| 2. 11:05~12:05 | 台湾における工作機械技術の動向と
レーザ R-test の 5 軸マシニングセンタの精度測定への応用 | 国立虎尾科技大学 | 覺 文郁
※通訳あり |

12:05~13:10 <昼食>

- | | | | |
|------------------------|--------------------------------|------------------|-------|
| 3. 13:10~13:40 | 新しくなった 5 軸マシニングセンタの幾何精度試験 | 日本大学 | 齋藤 明德 |
| 4. 13:40~14:10 | ボールバーによる 5 軸マシニングセンタの補間運動試験 | 神戸大学 | 佐藤 隆太 |
| 14:10~14:30 <休憩> | | | |
| 5. 14:30~15:00 | R-test による 5 軸マシニングセンタの補間運動試験 | 広島大学 | 茨木 創一 |
| 6. 15:00~15:30 | 工作精度試験, 特に円すい台及び S 字形試験片の仕上げ試験 | 大阪工業大学 | 井原 之敏 |
| 15:30~15:50 <休憩> | | | |
| 7. 15:50~17:10 | パネルディスカッション | MAMTEC, 上智大学名誉教授 | 清水 伸二 |
| 17:15~18:30 技術質問会(交流会) | | | |

◆定員◆ 60 名 申込先着順により定員になり次第締切ります。

◆聴講料◆ 会員 25,000 円(学生員 8,000 円), 会員外 35,000 円, 一般学生 10,000 円(いずれも教材 1 冊含む)

協賛団体会員は本会会員と同じ取り扱いといたします。ご入金は取消しのお申し出がありましても聴講料は返金できませんのでご注意願います。原則, 開催日の 10 日前までに聴講料が着金するようにお申し込み下さい。以降は定員に余裕があれば参加申し込みを受付けますのでお問い合わせ下さい。特別員で「行事参加割引券」ご利用の方は, お申し込み時にその旨ご記載下さい。

なお, 昼食に充当(実費 1,000 円)を希望される方は申し込み時に「充当希望」をお伝えの上, 当日現金で充当代金をお支払い下さい。

また, 銀行振込の払込票等をもって領収書に代えさせていただきます。本会所定の領収書をご入用の方は, 以下をご参照下さい。

<http://www.jsme.or.jp/japanese/contents/02/receipt.html>

◆教材◆ 教材のみご希望の方, また聴講者で教材を余分にご希望の方は 1 冊につき会員 2,000 円, 会員外 3,000 円で頒布いたしますので, 開催前に代金を添えて予約申込み下さい。講習会終了後発送いたします。なお, 教材には ISO 規格翻訳版は含みません。

◆申込方法◆ 本会 HP (<http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm>) からお申込み下さい。(担当職員 大通千晴)